

釧路町立遠矢小学校

指定年度：H30～
児童数：167名

1 包括的な学校改善に向けた取組の概要

① 教育理念や経営方針の浸透

本校は学力向上（授業改善及び家庭学習の充実）を今年度の重点としており、保護者や地域住民との連携を図ることが重要であると捉え、目指す子ども像を保護者、地域住民と共有する取組を推進している。

特に、今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、保護者会を開催することができていないが、グランドデザイン及び目指す子ども像を学校のホームページや学校だより等に掲載することにより保護者や地域住民への周知を図っている。

また、グランドデザインの作成に当たっては、学校運営協議会に意見を聞きながら作成し、承認を受けるなど地域住民の意見を取り入れて作成している。

② 協働意識の高揚

働き方改革の取組を通じた学校改善を実現することが重要であると捉え、校務分掌間の連携を図る運営委員会の取組の充実を図っている。運営委員会の推進にあたっては、学校の現状や課題を率直に出し合い共有することを心がけている。

また、新型コロナウイルス感染症対策に係る日常業務が増加している現状や、日々の打合せの効率化、文書での確認徹底を図るため、業務改善プラットフォームを試験的に導入することにより、全教職員がPCやタブレットで提案事項や連絡事項を共有するなど協働意識の高揚を図っている。

③ 人材育成

3名の初任段階教員の資質向上を目指し、メンター研修を実施している。中堅段階やベテラン段階のメンターがそれぞれの得意分野についてミニ研修の形式で計画的に実施しており、定期的に行うことで初任段階教員の資質向上と中堅段階、ベテラン段階教員の学び直しのよい機会となっている。

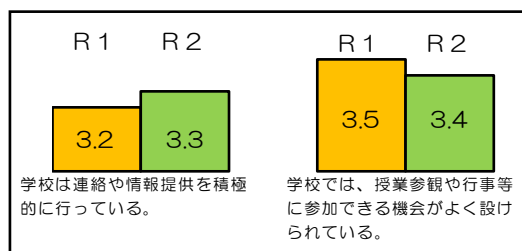
また、職場内の人間関係構築にも効果的であり、同僚性を高める要因にもなっている。



【メンター研修】

2 取組の成果と課題（□：成果 ■：課題）

□教育理念や経営方針の浸透について、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、グランドデザイン等を周知したことにより、学校評価において、保護者からの評価（4段階）が、昨年度から0.1向上した。



■学校評価において、「学校では、授業参観や行事等に参加できる機会がよく設けられている。」の項目の保護者からの評価（4段階）が、昨年度から0.1微減していることから、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた対応について検討する必要がある。